

# 食育だより

1月24日～30日は  
全国学校給食週間です

学校給食は子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。全国学校給食週間は、学校給食の意義や役割について考えるための一週間です。



今月の給食では、昔の給食を再現したメニューが登場します。

## 学校給食の始まり



日本の学校給食は、1889(明治22)年、山形県鶴岡町(現・鶴岡市)にある大督寺というお寺の中に建てられた私立忠愛小学校で始まったとされています。大督寺のお坊さんが日々を回ってお経を唱え、いたいたい米や野菜、お金を使って、貧しい家庭の子どもたちに食事を用意しました。その後、学校給食は、子どもたちの栄養を改善するための方法として国から奨励され、各地へ広まっていきましたが、戦争による食料不足の影響で実施できなくなってしまいました。

## 支援物資による学校給食の再開

戦争が終り、子どもたちの栄養状態の悪化が心配されたことから、1946(昭和21)年に、アメリカのLARA(アジア救援公認団体)から給食用物資の寄贈を受け、翌年1月から学校給食が再開されました。当初は給食用物資の贈呈式が行われた12月24日を「学校給食感謝の日」としましたが、1950(昭和25)年度からは冬季休業と重ならない1月24日～30日を「全国学校給食週間」とすることが定められました。

## 学校給食は教育活動に

1954(昭和29)年に「学校給食法」が公布・施行され、学校給食は教育活動として実施されることになりました。それから、時代の移り変わりとともに、子どもたちの食生活を取り巻く環境は大きく変化し、学校給食の内容も変わっていきました。

羽生市学校給食センター

令和8年1月号

2026年 令和8年



新年あけましておめでとうございます。今年度も残すところあと3か月となりました。引き続き、楽しみにしてもらえるような給食づくりに努めていきたいと思います。本年もよろしくお願ひいたします。



おめでとうございます!

## 学校給食について知ろう!



今月の給食では、昔の給食を再現したメニューが登場します。

## →→→ 学校給食の献立の移りかわり →→→



写真提供 / (独)日本スポーツ振興センター

